



世界に広がる“からし種運動”のネットワーク「声なき者の友」の輪
ニュースレターVol. 21 (2016年3月発行)

支援者の皆様へ

イースター（復活祭）のご挨拶 「わが命 捨てて未来の糧になる」

「一粒の麦がもし地に落ちて死ななければ、それは一つのままです。しかし、もし死ねば、豊かな実を結びます。」すべての被造物が神と和解させられるために、十字架で死なれ三日目に死者の中から復活されたイエスが語られたことばです。すべての被造物は大自然の循環の一部に組み込まれており、その一生を終えると土に戻り、次世代が育っていきます。創造の冠として創られた私たち人間には、他の被造物とは違う特別な「使命」が与えられています。イロコイ族は、七世代後の子孫にとって益になるかどうかを考えて今なすべきことを決めたそうです。自分の「生」が七世代後の子孫にどのような実を結ぶかをしっかりと考えて、今与えられている命を使い切りたい者でありたいと願います。

(代表・神田英輔)

インド・オディシャ州「人と社会のトータルな変革プログラム」感謝のうちに協力終了



山間部の村に重荷を与えられたナヤクさん(右)

「人と社会のトータルな変革プログラム」は、5年前の2011年、経済成長躍進の著しい新興国の一つであるインドで、辺境ジャングル地域の村のトータルな変革を目指して始まりました。未来を担う子どもたちが教育を受ける機会を失えば、インドのIT産業の強みなどは若者にも村にも、雲の上の話に過ぎなくなるばかりか、天国と地獄の格差拡大につながってしまうからです。この山間の村の様子に、長年心を痛めてきたナヤク女史の熱い思いに応答して始まったプログラムでした。5年を経て、様々な経験からの教訓と成果を得て

プログラムを完了するに当たり、ナヤクさんからの心からの感謝と5年間での到達の様子を報告致します。

2011年、橋の無い川を足で渡って到達する村の人々とナヤクさんの話し合いの結果、遠くの公立学校に通えない幼児と小学校低学年のための学習支援教室サポート、女性の自助グループ活動サポート、そして定期的に村の人々が希望をもって歩めるように集会を持つことになりました。山間の村々に活動を広めたいという当初のナヤク女史の夢は、途中、山間部に移動してきた武装グループのために、一つの村だけに集中し、山間のモデルづくりをするという計画の変更もありました。



学習支援教室に子どもを送り届ける父親たち



飲料水用貯水槽づくりに励む村人たち

村人たちが学習支援教室建設の用地と労働力を提供し、日本の方々が資材費を協力し、教室が2012年始めに完成し、村人たちのコミュニティセンターという役割も果たしています。2012年からひしめき合い学び始めた60人ほどの子どもたちの半分近くが3年のうちに、遠くの公立学校に入学する力を身につけ巣立っていきました。町に寄宿して高等教育を受け始めた子どもたちもいます。2015年後半には幼児と低学年児童の8人が通うだけになりました。村人による教育促進委員会をナヤクさんが設立し励まし続けた結果、村人の間で「ここで子どもに教育を受けさせても無駄だ」という考えは影を潜め、自分の子ども時代にはなかった場に、父親たちが送り出すまでになりました。

時代の変化の直撃を感じることもありました。村出身の若者に学習支援教室指導員を担当してもらいましたが、中等教育を終えると辺境地から広い世界の大都会に出て腕試しがしようと、二人の若者指導員が旅立ったのです。山間の村はこれからの時代に、どのように立ち向かうだろうと思ひ巡らす出来事でした。

女性たちが始めた自助グループでは、5年の間に技能訓練を受けて、自分たちの製品を作り出し、町に販売するようになりました。いくつかの品では注文も受けるようになり、女性たちの自信が深まりました。子どもたちや家族のために収入を得て貢献することで、女性の自分ができることが増えたのです。今では州政府の融資も受けています。

2014年には日本からの資材支援を受け、乾期用飲料水貯水槽づくりに村人みんなが協力しました。想像以上に困難で掘削作業をやり直す事態でしたが、貯水槽が完成したとき、村人は自分たちの夢が実現したと大きな達成感を味わったのです。

村と外界を遮断する川にかける橋の工事計画はできたもののまだ開始されていません。けれども、村では希望を励ましあう定期集会が継続しています。世界の転換期のこの5年間、最も辺境の人々が未来を構築する次世代を育成する過程に、日本の皆さまのご協力で参加できたことを心から感謝いたします。



希望に溢れ、町の学校に通う村の女の子たち

その他の活動（2015年12月～2016年2月）

万座温泉ホテル・フロアショー（群馬県）、狭山ひかり幼稚園・父親の会（埼玉県）、Mililani Community Church（米国ハワイ州）、東京武蔵野福音自由教会（東京都）、万座教会（群馬県）、立川福音自由教会（東京都）、聖望キリスト教会（千葉県）、アジア宣教フォーラム、練馬グレースチャペル（東京都）などでF V Iカタリストがセミナー、講演会等の奉仕させていただきました。共に労して下さった皆様に心より感謝いたします。

働きの支援、会費支払いのための送金方法

- ① 郵便振替： 口座名：「F V I」 口座番号：00180-0-300201
- ② ゆうちょ銀行、三菱東京U F J銀行の口座もご利用いただけますので、ご希望される方はお問い合わせください。

* このニュースレターは、希望された方に email による配信または印刷物として郵送させていただいています。送付先、送付方法の変更、部数の追加、差し止めなどは、以下の連絡先までお知らせください。

* カタリストまたは種資金での国際協力を支援して下さる場合、カタリスト名または国・地域名を通信欄にご明記ください。

● 「声なき者の友」の輪 事務局 email: info@karashi.net 090-3036-2776（神田）